

三重県のNPOを応援する情報誌 リーダー

READER

2021

春号

通巻：236号
発行：2021.3.25

特集

ボランティア

で

自分発見



CHARITY



DONATE

ボランティアで

学生のボランティア活動。
学生にも地域にも新しい変化をもたらす
とても大切な活動です。
学生はどのようにボランティアに出会おうのだろう？
と思っていた時に会ったのが、
皇學館大学ボランティアルームです。
学生スタッフの樋口葵さん(皇學館大学3年生)に
思いや取組について伺いました。



皇學館大学ボランティアルームは、ボランティアに参加したい学生と学生のボランティアを求める地域の人々をつなぐ役割を担っています。学生が運営し、伊勢市、松阪市、四日市市、三重県の社会福祉協議会(以下社協)や伊勢志摩バリアフリーツアーセンターなどと連携して活動をしています。これらの機関や地域団体のボランティア情報を学生に発信しています。「HELLOボランティア」という企画を行い、ボランティアとは何か、ボランティアに参加するための手順などを学生に伝えています。

ボランティア活動の紹介を中心に、季刊誌の発行、募金活動、ペットボトルキャップ回収、地域の子どもたちとのサマースクールなどの活動を行ってきました。今は、コロナウイルス感染症拡大の影響により、対外的なボランティア活動ができません。そのため、ボランティア募集が再開されたらすぐに活動できるように、学生スタッフのスキルアップを行っています。

現在、スタッフ数は約60名。その内、新スタッフが約20名。先輩スタッフが、新スタッフを対象にボランティア募集の方法やボランティアの魅力、ボランティアに関する知識を教えます。先輩スタッフは、後輩に教えることで仕事内容の再確認をし、責任のある行動がとれるように学習しています。新スタッフは、ボランティアルームの仕事を覚えることに一生懸命になっています。



伊勢社協さんによる
福祉講座

～ 視覚障がい編 ～

活動紹介

スキルアップの一環として、社協の方を招いて、学生スタッフを対象にした福祉講座を行っています。ボランティアをする際に必要な知識を得る講座や体験活動をしています。介助される立場に立った時に感じる不安や注意点から自身の介助技術を向上させています。



伊勢社協さんによる
福祉講座

～ 車椅子編 ～

自分発見



コロナ禍での活動紹介

パラスポーツ体験 ～ ゴールボール編 ～

年度末に実施するアンケートの中で、パラスポーツ体験を希望する声が多くありました。今年度は、パラスポーツ体験を新しい企画とするために学生スタッフのみで実施しました。障がいのある方と一緒に楽しむ姿勢、活動を大切にしています。ボランティア募集が再開した時には、ボランティアルームから大学内、地域へと企画を広げていける可能性を感じました。



コロナ禍での活動紹介 手話講座



福祉体験のボランティアをしている班は、地域の子どもたちを対象に行っているサマースクールの企画の一つである「手話」を取り上げ、学生スタッフ全体へと広げるための手話講座を開催しました。

ボランティア活動をする上でコミュニケーションは非常に重要です。“知っている手話がある”という少しの自信が、学生のコミュニケーション力を高めています。

コロナ禍での活動紹介 倉田山清掃

今学生スタッフが取り組める活動の一つに大学内外の清掃活動があります。いつもは隣接する皇學館高校の生徒と交流しながら、通学路の清掃をしています。今年度は学生スタッフのみで行いました。清掃する学生の姿を見て、“ありがとう”と声がかかったり、「他にどんな活動をしているの?」と声をかけてくれたり、対話が広がることもあります。地域とのつながりを実感しています。



ボランティアで自分発見



自分の可能性を発見した 樋口 葵さん

大学では知識のインプットをします。ボランティア活動に参加することで、得た知識が実際に社会の中でどう生かされるかを確かめることができます。また、自分の力がボランティアの場でどのように発揮できるかを試す場にもなります。その経験は、社会に出た時に役立つのではないのでしょうか。そして何より、ボランティアは楽しい。これもボランティアの魅力の1つです。

ボランティアを企画・運営し、担当スタッフを率いる経験は、この秋に行った自身の教育実習へ活かされたのではないかと思います。ボランティア活動での経験は、将来教師になった時に児童との関わり方や保護者との関係づくり、自身の指導力向上につながるのではないかと考えています。自分の可能性を発見し、自身の引き出しを増やすボランティア活動は誰にとってもいい経験になると信じています。これから一人のスタッフとして多くのボランティアに参加し、ボランティアの魅力を発見したいと思っています。



必要なことを経験できた

昨年度卒の学生スタッフ（現教員）

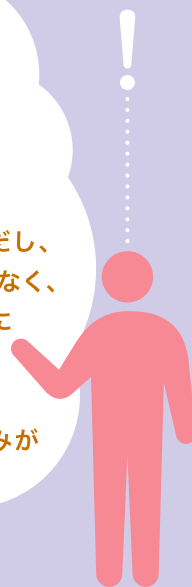
ボランティアルームは大学の一機関なので、いわば1つの会社みたいなものです。ボランティアルームでは各地域の社協との連絡や、企画の運営、各ボランティア団体からの電話対応等を含めて社会に出るから、必ず必要になることを経験できたと思います。この経験が今教師として働いていて、保護者対応や自分の教師スキルに繋がっていると確信しています。

人それぞれ参加しているボランティアや参加する理由が違うため一概には言えませんが、ボランティアの経験を生徒に話すことが出来るので、色々なジャンルのボランティアに参加してよかったなと感じています。



取材を終えて

“ボランティアをする学生をもっと増やしたい” 樋口さんの熱い思いが伝わってきました。ボランティア活動を通して、地域も大学生も元気になる。学生は、社会の中での自己価値を見だし、ボランティア活動が、他者のためだけでなく、自分自身のためにもなっていることに気づきます。学生が地域のボランティア活動に参加しやすくなるマッチングの取り組みがより積極的に展開されることを期待します。



団体名 皇學館大学ボランティアルーム

学生スタッフ 樋口 葵

団体設立 2005年7月

活動場所 皇學館大学2号館1階

✉ gakusenstaff@stu.kogakkan-u.ac.jp

🐦 @k_volunteerroom

📷 @gakusenstaff

ホームページ ▶

<https://www.kogakkan-u.ac.jp/campuslife/volunteer.php>



NPO 法が改正されます

(令和 2 年 12 月 2 日成立 令和 3 年 6 月 9 日施行)

令和 3 年 6 月 9 日から、NPO 法の運用が変わります。

01 縦覧期間、補正期間が短縮されます。

設立・定款変更時の縦覧期間が、「1 ヶ月間」から「2 週間」に短縮されます。(10 条 2 項)

縦覧事項は、インターネットの利用等により公表されます。(10 条 2 項)

⇒この公表は、所轄庁による認証・不認証の決定までの間、行われます。(10 条 3 項)

※実際の縦覧期間は、2 週間+認証・不認証の決定までの間となります。(三重県の場合、2 週間+最大 1 ヶ月)

申請書や添付書類に不備がある場合の補正期間は、「2 週間」から「1 週間」に短縮されます。(10 条 4 項)

03 認定・特例認定 NPO 法人の提出書類が、一部削減・追加されます。

「資産の譲渡等に係る事業の料金、条件その他その内容に関する事項」を記載した書類について、所轄庁への提出が不要になります。(55 条 1 項前段)

「役員報酬規程」・「職員給与規程」について、既に提出されているものから内容に変更がない場合には、毎事業年度の提出が不要になります。(55 条 1 項後段)

役員等に対する報酬の状況を記載した書類について、毎事業年度の提出が必要になります。(法施行規則改正)

02 個人の住所等が、公表等の対象から除外されます。

以下の「役員名簿」・「社員名簿」に記載されている、個人の住所・居所に関しては、閲覧・謄写対象から除外されます。

- ・ 設立認証の申請があった場合に所轄庁が公表・縦覧させる、「役員名簿」(10 条 2 項)
- ・ 請求があった場合に認定・特例認定 NPO 法人が閲覧させる、「役員名簿」・「社員名簿」(45 条 1 項 5 号、52 条 5 項)
- ・ 請求があった場合に所轄庁が閲覧・謄写させる、「役員名簿」・「社員名簿」(30 条)

| 参考 |

社員その他の利害関係人から請求があった場合に法人が閲覧させる、「役員名簿」・「社員名簿」については、今回の法改正に含まれていないのでご注意ください。(28 条 3 項)

04 NPO 法関連手続きのデジタル化が、今後推進されます。

NPO 法に基づく事務又は業務の、利便性の向上、簡素化、効率化を図るため、デジタル化に必要な措置が講じられます。(附則第 8 条)

| その他の改正 |

NPO 法人が三重県に提出する各種申請書・届出書から、押印欄が廃止されます。(三重県特定非営利活動促進法等施行規則等 様式改正 令和 3 年 3 月施行予定)

ご不明な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

三重県 環境生活部 ダイバーシティ社会推進課 NPO 班

〒514-0009 津市羽所町 700 番地 (アスト津 3 階 みえ県民交流センター内)

TEL 059-222-5981 FAX 059-222-5984 E-mail seiknpo@pref.mie.lg.jp URL <https://www.pref.mie.lg.jp/NPO/index.htm>

協創シンポジウム 2020

「コロナ禍におけるNPO ～新しい生活様式を協創する～」開催



協働、パートナーシップ、共創、協創…。

なぜこんなによく似た言葉が使われているのでしょうか。

それは、「子ども」「環境」「福祉」といった分野や、「行政」「企業」「大学」「NPO」といったセクターが、それぞれの活動をしているだけではなく、それぞれの強みを生かし補完しあって「一緒になって」よりよい地域、社会、未来をつくるのが求められているからです。つながることで「新しさ」や「可能性」を見出すことができるからです。

しかし、昨年来のコロナ禍では、この「つながり」が分断される事態が発生しました。人と人との関係性によって活動をつくりだしているNPOにとっては大きな打撃でした。

「活動がつつげられない」「必要な人に活動やサービスが届けられない」。

活動団体も、参加・利用している人々も、ストレスが高まるばかりでした。そのような状況下、少しでも活動が継続・再開されるように、三重県は補助事業「NPO再開支援事業補助金」を展開しました。

今年度の「協創シンポジウム」は、コロナ禍にあっても「動きつづけたい」と「NPO再開支援事業補助金」に申請をし、コロナ禍だからこそ可能な活動を工夫し展開した3団体に学びました。

それぞれ違う分野での活動ですが、共通していることは「つながる」こと。ゲストがつながり、ゲストと参加者がつながり、参加者がつながり、何に気づき、何が生まれるか。じっくり聴きあう時間をもちました。



11. 住み続けられるまちづくりを

包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

あおぞらひとつなぎプロジェクトの東さん



コロナ禍だって活動できた！

なにもない!から始まる夢

特定非営利活動法人

あおぞらひとつなぎプロジェクト 東 由紀子さん

団体名には「人と人をつなぐ」という意味が込められています。

若者が「田舎だから何もない」とってしまうのはもったいない!と、熊野地域だからこそ、魅力を伝えるイベントや空き家の活用など様々な活動を行っています。

熊野の魅力を都市圏に向けて発信するフリーペーパー「KUMANO JOURNAL」のウェブ配信、自動車整備工場の跡地を音楽サークルの練習スペースや教室として活用、焼き菓子のネット販売、ライブとマルシェなどといった小さなイベントを少しずつ開催し、地域のつながりを広げていきます。

今年、新型コロナウイルス感染症の終息と世界の平和を願う祈りの灯りとして、地元の人々と竹あかりを制作し、「みんなの想火2020」に参加しました。全国各地で一斉に灯し、動画配信を行いました。

だれもが安心して活躍できる社会に 父子(ちちこ)の会 中村 友昭さん

発達障害の子どもがいる父親や家族同士の交流(ピアサポート)を行っています。

仲間と悩みや不安を共有し、発達障害についての正しい知識と理解を得るための勉強会等を行い、「だれもが安心して活躍できる社会」を目指しています。

コロナ禍では勉強会や交流会の開催が難しくなり、個人で悩みや不安を抱え込んでしまう「孤(こ)育て」の状態に陥りがちでした。今回の補助金でオンライン化を進め、コロナ禍でも自主勉強会等の活動を継続することができるようになりました。新規参加者も増え、地域・社会・みんなで協力して一緒に行く「co(こ)育て」に向けて、つながりの維持・拡大に取り組んでいます。

次なるチャレンジは、みんなで作る「食農と防災の学習スペース(SBGs)」モデルづくり事業。

地域の人々と顔の見える関係、「お互い様」と言い合える関係をつくり、災害時にも安心して過ごせるスペースや、子どもたちと一緒に体験学習のできる環境・居場所づくり等を進めていきます。

父子の会の中村さん



オンラインで保護動物に出会う 動物福祉ムック王国 桜井 むつみさん

「飼い主のいない動物を一匹でも減らしたい!」という想いから、里親会やTNR(※)、チャリティーイベントや講演会などを通じて動物保護活動を行っています。しかし、コロナ禍になり、里親会の開催が難しくなりました。里親会を開かなければ、保護する動物が増えるばかりで、保護する環境の

維持が難しくなってしまいます。

そこで、今回の補助金で「オンライン里親会」を開催することにしました。オンラインで動物たちの様子をみていただくことができ、SNSなどでの問い合わせも増え、たくさんの保護猫たちが里親に迎えてもらうことができました。もちろん、通常の里親会と同様に、トライアルの期間を1週間もち、里親になっていただく約束・条件をきちんと守っていただいています。

今は動物たちの保護シェルターづくりに取り組んでおり、シェルターとなる場所、土地を探しています。そこで保護動物の飼育や、里親会なども開きたいと考えています。

※TNR…Trap・Neuter・Returnの略。繁殖を防ぐため、野良猫を捕獲し、不妊・去勢手術を行い元の場所に戻すこと。

ゲストセッション

ゲストのみなさんには、コロナ禍の活動で大変だったことや、「協創」について意見交換をしていただきました。その中で出た「つながりを作るうえで大切にしていることは？」という話題について、皆さんは次のように話されました。

東さんは、カフェを訪れるお客さんと色々な話をするなかで「みなさん、何かを持っている」と感じ、音楽活動をしているお客さんを中心に、近所の方、他のお客さんを巻き込み、教室を始め、ついにはライブをやるう、となったそうです。

中村さんは、「発達障害の子どものいるお父さんの集まりから、農業や防災の体験学習スペースづくりへと活動がひろがっています。多様な人がいて、つながっていくからこそ色々なアイデアが生まれ、実現していくのだと思います。」と話されました。

桜井さんは、「里親さん、預かりさん(※)、寄付してくださる方、支えてくださる方などのつながりがあってこそその活動です。感謝することや人の気持ちに寄り添うことを大切に活動し、輪が広がっていった今、皆さんにはそれぞれの得意を活かして力を貸してもらっています。」と、経験からの言葉を発されました。

※預かりさん…保護した動物を譲渡されるまで預かってくれるボランティア



動物福祉ムック王国の桜井さん

フロアセッション

参加者のみなさんは小グループに分かれて、活動報告からの学びや感想などを交わし、コロナ禍での組織運営のあり方や、つながりをどう継続していくかなど、グループ内での話題を共有しました。

「コロナ禍での協創」という難しいテーマを話し合うなかで、グループメンバー間のつながりを深め合う場面も見られました。また、「じっくり聴きあうことの大切さを再確認した」「ジャンルの違う団体の活動や課題を知ることができ、新しい発見があった」「他を良く知ることが協創のきっかけになると感じた」といったコメントがありました。

ゲストの間では、「TNR活動への寄付金付きの犬猫クッキーを通販しては?」「みんなで熊野にいこう!」など、お互いの活動を合わせた新しいアイデアやつながりのヒントも生まれました。



参加者による意見発表

シンポジウムを終えて

全く異なる分野で活動をしている3団体ですが、共通した部分があったり、協力し合える活動があったりと、「協創の種」を見つけることができました。また、このコロナ禍で私たち中間支援団体はどんな支援が必要なのかを改めて考える機会にもなりました。

どのようなつながりをつくるか、が「協創の肝」になります。そこに、中間支援団体の役割があり、専門性が活かされる。どんなつながりをつくらうか、とワクワクドキドキしてきました。

登壇者、参加者の皆さま、ありがとうございました。

新着

図書紹介

New books

書籍
著者

河北新報のいちばん長い日 震災下の地元紙
河北新報社

「フクシマ」論 原子カムラはなぜ生まれたのか
開沼博

千夜千冊番外録 3・11を読む
松岡正剛

みんなの「わがまま」入門
富永京子

気仙沼ニッティング物語 いいものを編む会社
御手洗瑞子

SDGs—危機の時代の羅針盤
南博, 稲葉雅紀

あなたが世界のためにできるたったひとつのこと
〈効果的な利他主義〉のすすめ
ピーター・シンガー

かっこいい福祉
村木厚子, 今中博之

全災害対応! 子連れ防災 BOOK 1223人の被災ママパパと作りました
NPO 法人ママプラグ

本音の置き場所
バービー

ツイッター哲学 別のしかたで
千葉雅也

「国境なき医師団」になろう!
いとうせいこう

アイデアのつくり方を「仕組み化」する
ポール・バーチ, ブライアン・クレッグ

「自己肯定感低めの人」のための本
山根洋士

こちらのQRコードから
「新着図書」の詳しい情報を
ご覧いただけます。



三重NPOグ

提案プレゼンテーションをオンラインで開催しました。

2020年は新型コロナウイルス感染症拡大という目に見えない脅威に、NPO・市民団体は活動を中止・延期せざるをえませんでした。今年の三重NPOグランプリは、「コロナ禍に伴う社会の変化に対応する『NPOだからこそできる前向きな提案』」をテーマに、10月から11月にかけて5つの地域でワークショップを行ったNPO・市民団体のみなさんとアイデア・提案を共有する場になりました。第4回三重NPOグランプリは、審査員、参加した皆さんの「この提案は大切!」「とてもユニーク!」「ぜひ実現してほしい!」共感度による投票で決定しました。



提案企画

今こそ動き出そう! NPOのつながりが生み出す 元気なまち四日市

四日市市市なやプラザ



コロナ禍で活動やイベント等の活動を制約され、だれもが身体・精神とも不安定でストレスがたまりやすい状態にあります。そんな中、コロナ対策を逆手に取って、斬新なアイデアで楽しく活動しているNPOがあります。学校や行政ができないからNPOもやらないのではなく、自由な立場のNPOだからこそ動き出す。そんな気概と知恵が今だからこそ重要です。コロナ禍で何ができるのかわからない、というNPOもたくさんあります。先進的なNPOのアイデアを他のNPOが共有することで、それぞれの活動に生かすことができます。NPOがお互いに助け合い、新しいチャンスも生まれてきます。一つ一つのNPOが元気になれば、周囲の人々が元気になっていきます。そんな元気を生み出すNPOのネットワークを作ります。



提案企画

子どもの虐待・DV防止 安心の輪を広げましょう

桑員子どもと女性の安心ネットワーク

コロナ禍という非常時にもっとも影響を受けるのは、子ども、女性、障がいのある人です。子どもの虐待、DV被害に対してNPOだからこそできることを、関連する10団体と2市1町の市民活動センターが参加し、4回のZoom会議で議論を重ねました。現状のニーズや各団体が取り組んでいることを出しあい、この地域で重層的なサポートができる感触を得ることができました。今後、NPOの特性を活かし、より対象者に近いところで、敷居が低く使いやすい相談先を、行政区を超えて提供できる仕組みを創ります。子どもと女性の安心の輪を広げる包括的な支援を実現していきます。



ランプリ

新型コロナウイルス感染拡大渦中だからこそ
「NPOができること」



敢闘賞

提案
企画

第10回いせ市民活動フェスティバル コロナ禍での開催の模索

いせ市民活動フェスティバル実行委員会

いせ市民活動センターにおいて盛大に開催されていた「いせ市民活動フェスティバル」。コロナ禍によって、3密を避けられないため、内容の大幅な変更による開催か、中止にするか、の選択を迫られました。これまでの成果を大切にしたいとの思いから、今回は、SDGsの考え方も取り入れながらの環境美化活動に切り替えることを検討しました。人が集まるイベントから、市民活動団体が積極的に街に出ていく、という大きな転換です。この活動を通して、環境美化に加え、これまで培ってきた団体同士の結束がさらに強まり、市民の皆さんの市民活動への関心が高まることを期待しています。このフェスティバルの「つなごう むすぼう みんなの輪」というテーマの実現に繋がることを確信しています。



提案
企画

IT支援強化と 情報弱者へのアナログ広報支援

松阪市市民活動センター運営委員会

新型コロナウイルス感染症に関するアンケートで9割以上のNPOが影響を受けたと回答しました。この状況下でNPOができる“前向きな提案”は、現状を理解する「中間支援組織（NPO）によるNPO支援の強化」であると考えています。これに加え、松阪地域では地域社協、地縁組織との連携も視野に入れ、ネットワーク環境のない世帯（情報弱者）への広報支援も検討中です。今後のウィズコロナ時代に向けてNPOに期待される支援の形を提案してきたいと考えています。



敢闘賞

提案
企画

できることを自ら探し、実行する

ウミガメネットワーク三重

ウミガメの保護と海岸保全活動を行っています。ウミガメの上陸跡を探す調査や屋外で行う調査は密接・密集を避けることができます。感染拡大が小康状態になった時期から、小中学校や保育所等から室内で行うウミガメ出前講座の依頼があり、以下のような密を避ける工夫をしました。

- ①紙芝居は、パソコン、プロジェクター、スクリーンを使って大きな画面を使用
- ②標本等の展示物も間隔を開けて配置
- ③出前講座の間ずっとマスクを着用し、必要に応じてフェイスシールドを着用
- ④出前講座は屋内、講座の後で海岸清掃を行った学校が2校

コロナ禍であっても気持ちまで暗くならないように、さらに気分転換に工夫を重ねていきたいと考えています。



どの団体もNPOのつながりや動きを止めないことを大切に、NPO活動が地域に欠かせない存在であることを熱く語っていただきました。2021年はみえ市民活動ボランティアセンターに集まって「市民活動・NPO月間」で交流できることを願うばかりです。参加者のみなさん、ありがとうございました！

インフォメーション

information

01

【お知らせ】

新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する取組

- ・来館いただいた方に検温と手指消毒をお願いしています。検温器と消毒液を設置しています。ご利用ください。
- ・センター内での3密を避けるために座席数を減らしています。定員を超えた場合はご利用いただくことができません。
- ・以下の備品を貸出しています。ご希望の方は受付にお申し出ください。（※当センター内での使用のみ）
 - └ オンライン会議で使用するカメラ・マイク（要事前申し込み）
 - └ 飛沫防止のための卓上パーテーション

状況によって利用方法を変更する場合があります。

当センターホームページをご覧ください。受付までお問い合わせください。

02

【報告】

NPO 相談講座を開催しました

1/26、入門編「はじめてみよう NPO」、法人設立編「1 から学ぶ NPO 法人の設立方法」を開催しました。入門編では、講師に四日市大学の松井真理子教授を迎え、NPO や市民活動の基礎について学びました。法人設立編では、三重県 NPO 班の職員が講師となり、三重県で NPO 法人を設立する際の手続きについて学びました。

3/9、「再確認！ NPO 法人の提出書類」講座を開催しました。三重県 NPO 班職員を講師に、三重県の NPO 法人が所轄庁に提出する、定款変更・事業報告書・役員変更などの書類作成方法について学びました。いずれも新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン講座となりましたが、質疑応答時には質問が飛び交いました。



03

【報告】再生 PC や事務用品が寄贈されました

三重県内の団体に再生 PC と事務用品を寄贈する「みえイーパーツ リユース PC 寄贈プログラム実行委員会」の取り組みです。再生 PC は認定 NPO 法人イーパーツを通じて団体へ、事務用品は大塚商会から県内中間支援組織に寄贈されました。

ご協力くださった皆様ありがとうございます。



04

【報告】グレードアップセミナー 2020 「災害が起きたら…中間支援組織はどう動くか」を開催しました。

3/2、20 名の方にご参加いただきました。NPO 法人みえ防災市民会議議長の山本康史氏をゲストに迎え三重県での防災・災害ネットワークのありかた、中間支援組織の役割、分野を超えた連携等についてのお話を伺いました。また、2018 年に NPO 法人、2020 年に任意団体を対象に行った「災害・防災」に関するアンケートの調査結果や地域の中間支援組織から防災・災害の取組状況の報告を行いました。

意見交換では、「要支援者の声を聴く」「日々の関係性づくり」といった発言があり、地域の多様な団体がそれぞれの強みを持ち寄り、地域まるごと、ひいては地域を超えた県域で「ささえあう仕組み」づくりの必要性を共有しました。



全ての
問い合わせ
・申込み先

みえ市民活動ボランティアセンター

〒514-0009 津市羽所町 700 アスト津 3 階
TEL 059-222-5995
FAX 059-222-5971
MAIL center@mienpo.net

最新情報はコチラから！

HP



Facebook



Twitter



みえぎんNPOローン 好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保でご融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130 (審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



NPO等非営利法人専用

ソーシャルビジネス サポートローン

東海ろうきんは社会的課題に取り組む非営利法人を支えます。

無担保

変動金利 **年1.5%** (保証料込)

有担保

変動金利 **年1.0%** (保証料込)

ソーシャルビジネス サポートローン 商品概要

ご利用いただける法人

東海3県内に事業所を有するNPO法人、社会福祉法人、公益法人(社団法人、財団法人)で下記条件をすべて満たす法人。
1) 特定非営利活動法人として法人登記されているNPO法人。社会福祉法第22条に規定する社会福祉法人、もしくは、行政庁から公益認定を受けた公益法人(社団法人、財団法人)。
2) 法人活動実績が2事業年度以上あり、かつ法人格取得後1事業年度以上の決算が確定している法人。

用途 【運営資金】人件費・諸経費の支払資金、パソコン・備品などの購入資金、仕入資金、納税資金、買掛金・未払金・支払手形の決算資金等
【設備資金】事務所・店舗・会館等の建築・改装資金等及びその敷地の取得資金、事務所入店保証金・権利金・敷金、機械設備・車輛・船舶等の購入資金、従業員宿舎・厚生施設建設資金等

| ご融資額 | | NPO法人 | | 社会福祉・公益法人 | |
|-------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 無担保 | 証書貸付 | 1,000万円以内 | 1,000万円以内 |
| 有担保※1 | 手形貸付※2 | 3,000万円以内 | 3,000万円以内 | 1億円以内 | 1億円以内 |
| | 証書貸付 | 5,000万円以内 | 5,000万円以内 | 1億円以内 | 1億円以内 |

※1 上記金額と担保評価80%のいずれか低い額を限度額とします。
※2 手形貸付は「地方公共団体の指定管理者制度に基づく事業等」に係る融資のみとします。

| ご返済期間 | | 設備資金※3 (据置期間1年以内を含む) | | 運営資金 (据置返済はご利用できません) | |
|-------|------|-------------------------|--------|-------------------------|--------|
| | | 無担保 | 証書貸付 | 10年以内 | 3年以内※4 |
| 有担保 | 手形貸付 | 1年以内 | 1年以内 | 3年以内※4 | 1年以内 |
| | 証書貸付 | 20年以内 | 3年以内※4 | 1年以内 | 1年以内 |

※3 融資対象設備の減価償却期間内とします。
※4 東海ろうきんのお取引状況によって、5年以内(据置期間なし)とする場合もあります。

ご返済方法
●証書貸付……元利均等返済、または元金均等返済
●手形貸付……期日一括返済(利息一括前受)
※据置期間中は利息のみ毎月返済いただきます。

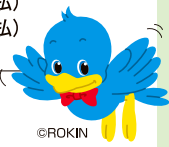
| 金利(保証料込) | 証書貸付 | | 手形貸付 | |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 無担保 | 変動金利 年1.50% | 変動金利 年1.50% | 変動金利 年1.50% |
| 有担保 | 変動金利 年1.00% | 変動金利 年1.00% | 変動金利 年1.00% | 変動金利 年1.00% |

担保(有担保の場合) 1) 当金庫定期預金 2) 不動産

保証人
(一社)日本労働者信用基金協会による保証を受けていただきます。無担保・有担保を問わず、原則、当該法人の代表者の方に連帯保証人となっていただきます。預金担保の場合は、(一社)日本労働者信用基金協会による保証は不要ですが、担保提供者の方に連帯保証人となっていただきます。

保証料
●無担保……証書貸付 年0.70%(月次後払)
手形貸付 年0.40%(一括前払)
●有担保……証書貸付 年0.36%(月次後払)
手形貸付 年0.28%(一括前払)
※保証料率は金利に含まれています。

証書貸付手数料
●無担保……融資額の1.10%(税込)
●有担保……融資額の2.20%(税込)
※手形貸付は手数料不要です。



◎融資金利・融資条件等については、金利環境等により変更する場合がございます。◎お借入れ金利は、お申込み時ではなく実際にお借入れいただく日の金利が適用となり、お申込み時の金利と異なる場合がございます。◎返済金は東海ろうきんホームページ(ローンシミュレーション)で試算いただけます。◎審査の結果等によっては、ご利用いただけない場合もございますので、予めご了承ください。◎詳細につきましては、店頭に商品概要説明書をご用意しております。

2021年2月1日現在

季刊誌「READER」の広告を募集しています

みえ市民活動ボランティアセンターでは、季刊誌「READER」に広告を掲載していただける企業・団体等を募集しています。季刊誌「READER」は年4回それぞれ1万部を発行しており、企業・行政・大学・NPOなど幅広く配布している冊子です。お申し込みは随時受け付けています。広告掲載を希望される方は、最下部の問い合わせ先までご連絡ください。

1 発行スケジュール

夏号...6月、秋号...9月、冬号...12月、春号...3月(いずれも25日に発行)

2 広告・協賛掲載位置及び規格

| 種別 | 掲載位置 | 規格 | 内容 | 料金 |
|--------|------|-------|---------------------------------------|------|
| 広告(A4) | 1ページ | A4サイズ | 広告主が制作の広告。または、写真や文字などの原稿提出後、デザイナーが作成。 | 下記参照 |

広告(A4)の料金について

| 種類 | 料金 | 内容 |
|----------------|-------------|------------------------|
| 三重県内のNPO法人 | 25,000円/ページ | NPO法人が行う特定非営利事業に関する内容 |
| 三重県内の市民活動センター等 | 35,000円/ページ | 市民活動(支援)センターに関する情報発信など |
| 三重県内の企業、行政 | 55,000円/ページ | CSR、CSV、社会貢献的な内容、助成金など |

※広告主が制作した広告(デザイン)を掲載する場合は、上記の金額から5,000円引きとなります。

※原則1団体1号につき2ページまでとなります。ただし、空きがある場合はこの限りではありません。

3 問い合わせ先

みえ市民活動ボランティアセンター

(指定管理者:特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンター)

〒514-0009 津市羽所町700番地アスト津3階

電話 059-222-5995 FAX 059-222-5971

Email: center@mienpo.net



詳細については
こちらをご覧ください

助成金情報

みえ市民活動ボランティアセンターHPにて助成金などの情報を発信、更新しております。

① 締め切り・募集期間 ② 対象 ③ 助成金額/表彰内容

安藤スポーツ・食文化振興財団 2021年度自然体験活動支援事業 第20回「トム・ソーヤースクール企画コンテスト」

- ① 2021年5月16日(日)
- ② 小学校・中学校と協力・協働等し自然体験、地域交流、環境教育、自然体験、アウトドアスポーツ等、こどもたちの健全な心身の育成に寄与する団体
- ③ 各賞10万円~100万円+チキンラーメン3ヶ月~12ヶ月

みずほ教育福祉財団 第38回「老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業」

- ① 2021年5月21日(金)
- ② 高齢者を対象とした生活支援サービスや地域共生社会実現につながる活動等を行うボランティアグループ
- ③ 1グループにつき10万円を上限(計110グループ程度)

ヨネックススポーツ振興財団 2021年度後期助成

- ① 2021年6月21日(月)
- ② 生活協同組合と協同して地域のくらしを向上させる活動に取り組む市民団体等
- ③ 1団体の上限100万円(事業予算の1/2以内)

国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金子どもの体験活動(二次募集)

- ① 2021年6月15日(火)、電子申請6月29日(火)
- ② 子どもの健やかな育成を目的に、体験活動や科学体験活動に取り組むNPO法人等
- ③ 1団体の上限50万円

JT SDGs 貢献プロジェクト ~包摂的かつ持続可能な地域社会の発展に向けて~

- ① 2021年6月1日(火)~6月30日(水)
- ② 法人格を有し、「格差是正」、「災害分野」、「環境保全」につながり、包摂的かつ持続可能な地域社会の発展に貢献する事業
- ③ 1事業200万円を上限

認証
した

特定非営利活動法人

(2020年11月10日~2021年2月9日認証分)

①法人名 ②主たる事務所の所在地 ③活動分野 ④認証年月日 ⑤代表者

- ① 特定非営利活動法人 伊勢志摩さいこう会
- ② 伊勢市一之木3丁目11番29号
- ③ まちづくり、環境、経済活動
- ④ 2020/11/24
- ⑤ 理事 中川 雅之

- ① 特定非営利活動法人 S・T・Nネット
- ② 津市片田田中町1825番地
- ③ まちづくり、環境、地域安全
- ④ 2021/2/8
- ⑤ 理事長 竹川 款一郎

- ① 特定非営利活動法人 なごみ
- ② 伊勢市中須町826番地2
- ③ 保健
- ④ 2021/2/5
- ⑤ 理事長 吉岡 貴志



転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえNPOネットワークセンター」に連絡してください。

READERはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津 市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市なやプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (志摩市)阿児アリーナ/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JAバンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(地域防災総合事務所[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀] 地域活性化局[南勢志摩、紀北、紀南])/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/MieMu(三重県総合博物館)/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター『フレンティみえ』/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。



株式会社
阪本事務機



環境にやさしい植物油インキを使用しています。